

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: X-CELL TOUR

COLOR: RUBY/GOLDENROD/INDIGO

WEIGHT BLOCK: NUCLEUS AI-CORE

COVER STOCK: HYPER RESPONSE PEARL REACTIVE

RG: 2.50 ΔRG: 0.056 ID: 0.019

FACTORY FINISH: 1500GRIT POLISH

TRACK FLARE POTENTIAL: 6+

BACK END: 19 (1-20) MAX LENGTH: 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



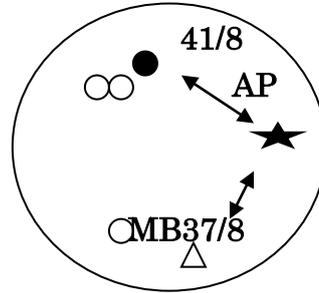
2024年7月16日



レイアウト例

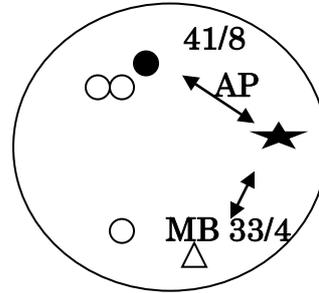
X-CELL

X-CELL TOUR



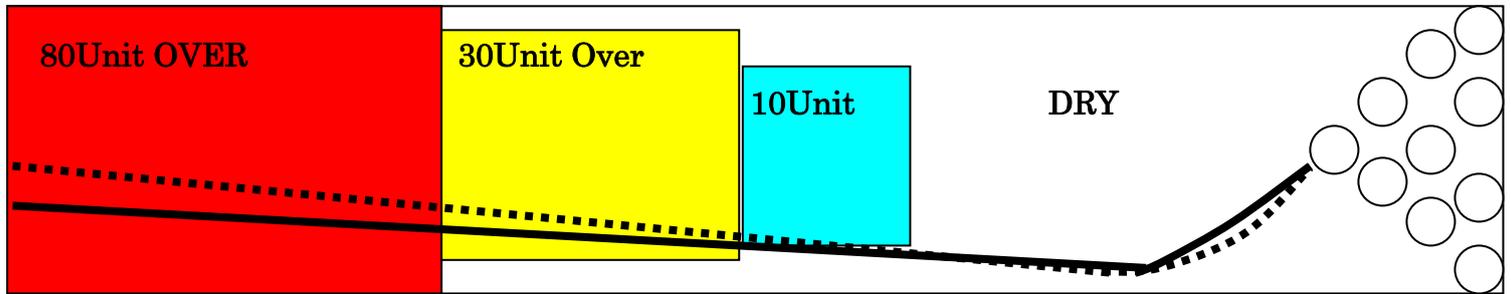
CA52.5度

フラー幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8



CA52.5度

最大 6 3/4 ・



0F

20F

40F

比較品ライン

X-CELL TOUR

X-CELL

【レーン状況】 コンディショニングはミディアムオイルがベースですが、レーン手前はスプレーでオイルを増量しています

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○			△			

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

CELLシリーズとして生まれ変わった X-CELL 第二弾は強めのパール素材を使用、レーン手前からの転がり始めは安定感抜群で、絶妙な直進性とあいまってブレークポイントまで行きます。曲がり方は切れさえ感じられる程で転がりを維持したままのピンへの破壊力は魅了する1球です

【ここがポイント】



第一作目の強い SOLID 素材からも感じられましたが、NUCLUS A-1 コアのレーン手前から中盤までの安定感は転がり出しが早いのですが余分な摩擦係数が無くボウラーの想定通りの軌道しますのでレーンも読み易く感じられ、今回のパール素材になっても滑る事なく直進性を感じられるのが最大のこの製品の特長だと思います、曲がり方はパール素材感もあり切れさえ感じられバックエンドでは大きな曲がり方を演出します。また 流石 A-1 テクノロジーと感じさせる、ピンアクションが随所に感じられ、破壊力抜群のピンアクションは本当に武器ですね。

2024年10月販売予定 テスト協力: アイビーボウル向島 テスター: 石原 章夫プロ

